

「『みえ県民カビジョン・第三次行動計画』(仮称)最終案及び『第三次三重県行財政改革取組』(仮称)中間案に基づく今後の『県政運営』等に関する申入書」について
(回答)

- 1 「『みえ県民カビジョン・第三次行動計画』(仮称)最終案及び『第三次三重県行財政改革取組』(仮称)中間案に基づく今後の『県政運営』等に関する申入書」への回答
(総括的事項)
- 2 「『みえ県民カビジョン・第三次行動計画』(仮称)最終案に対する意見」への回答
(各行政部門別常任委員会集約分)

目 次

- 1 「『みえ県民カビジョン・第三次行動計画』(仮称)最終案及び『第三次三重県行財政改革取組』(仮称)中間案に基づく今後の『県政運営』等に関する申入書」への回答
(総括的事項) P 1 ~ P 2
- 2 「『みえ県民カビジョン・第三次行動計画』(仮称)最終案に対する意見」への回答
(各行政部門別常任委員会集約分) P 3 ~ P 8

1 「『みえ県民カビジョン・第三次行動計画』(仮称)最終案及び『第三次三重県行財政改革取組』(仮称)中間案に基づく今後の『県政運営』等に関する申入書」への回答

(総括的事項)

番号	申し入れ内容	主担当部局	全員協議会・委員会意見	回 答
1 「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」(仮称)最終案について				
1	施策横断的な取組について	戦略企画部	<p>地方創生の実現に向け、人口減少に歯止めをかけ、地域の自立的かつ持続的な活性化を図るためには、県のあらゆる施策を総動員し、相乗効果を生み出しながら取り組むことが必要です。</p> <p>例えば、施策251「南部地域の活性化」や施策253「農山漁村の振興」等の地方創生に深くかかわる施策については、他の施策との連携にも留意し、関連する施策の取組とともに進めることで、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でめざす地方創生にもつながるよう取り組まれることを要望します。</p> <p>また、このような関連する施策との取組が、わかりやすく読み取ることができるよう、「第3編 地方創生の実現に向けて」等の記述を工夫されるよう要望します。</p>	<p>地方創生は、人口の減少に歯止めをかけるとともに、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、地域の自立的かつ持続的な活性化を実現していくことです。</p> <p>個々の課題がさまざまに関わっている中、多岐にわたる分野の取組を有機的かつ効果的に結びつけ、各施策が相乗効果を発揮し、総合的に取り組んでいくことが必要であり、「総合戦略」と「行動計画」との一体化を図り、施策横断で取り組む4つの対策をお示ししています。</p> <p>こうした内容が読み取れるよう、「第3編 地方創生の実現に向けて」の記載を工夫するとともに、4つの対策と各施策の関係を一覧表でお示しました。</p>
2	Society 5.0及びSDGsの視点の導入について	戦略企画部 総務部	<p>Society 5.0及びSDGsの視点を取り入れることは、第三次行動計画(仮称)の目標となる「三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会」の実現のために意義のあることと考えられます。</p> <p>これらは、第一次、第二次の行動計画にはなかった新しい視点であることから、十分に周知・浸透を図り、計画期間が終了するまで、絶えず意識して県政運営にあたっていただけるよう、今一度、記述内容の点検等を行っていただくことを要望します。</p> <p>また、計画策定後において、施策の進捗状況等を説明いただく際には、Society 5.0及びSDGsの視点にも留意していただくよう要望します。</p>	<p>「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」では、県を取り巻く複雑かつ多岐にわたる課題を克服するための新しい切り口として、Society 5.0及びSDGsの視点を、施策展開の拠り所としています。</p> <p>成案の策定にあたっては、最終案の記述内容等をあらためて点検し、「第2編 政策体系」において、これらの視点に基づき、施策の「県民の皆さんとめざす姿」や「取組方向」の記述を一部見直しました。</p> <p>また、施策を構成する事業の構築・展開にあたっては、これらの視点を意識し、毎年度の経営方針や予算等の中で説明していきたいと考えています。</p>

番号	申し入れ内容	主担当部局	委員会意見	回 答
3	施策の指標と進行管理について	戦略企画部 総務部	<p>施策の成果や効果を適切に評価するため、各施策に「主指標」「副指標」が設けられましたが、「成果レポート」等による施策の成果等の説明にあたっては、これら「主指標」「副指標」の目標達成状況だけではなく、令和5年度末での到達目標「県民の皆さんとめざす姿」に対して、各施策がどのような成果や効果をもたらしているかについても丁寧に説明いただくよう要望します。（環境生活農林水産常任委員会意見）</p>	<p>施策の進行管理を的確に行うため、「県民の皆さんとめざす姿」を適切に測定することができる代表的な指標として「主指標」「副指標」を設けており、その目標達成状況を把握することが重要であると考えています。</p> <p>また、毎年度公表する「成果レポート」において、それぞれの指標の目標達成状況に加え、施策のめざす姿を踏まえて、取組実績等をもとに総合的に進展度を判断し、記載方法について工夫のうえ、説明していきます。</p>
2 「第三次三重県行財政改革取組」（仮称）中間案について				
1	市町との連携による効果的な取組展開について	総務部	<p>近年頻発している大規模自然災害への対応や超高齢社会の進展に伴う社会保障関係経費の増加などへの対応が求められている中、本県では今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれています。また、県民ニーズに的確に対応するためには、スマート自治体への転換、多様な働き方の推進が必要であり、新たな発想を取り入れた取組も求められています。</p> <p>このような取組については、市町において先進的に行われているものも考えられることから、県当局におかれましては、市町とも積極的に情報交換を行い、優れた取組を互いに取り入れるなど市町と連携し、効果的に行財政改革取組を展開されるよう要望します。</p>	<p>「第三次三重県行財政改革取組」を進めるにあたっては、県と市町との情報交換の機会を積極的に活用するなど、効果的な取組となるよう努めてまいります。</p>

2 『「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」(仮称)最終案に対する意見』への回答

(各行政部門別常任委員会集約分)

総務地域連携常任委員会

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見	回 答
行政運営6	スマート自治体の推進	総務部	<p>スマート自治体の推進に向け、安心かつ快適に情報システム等を利用できる環境が整うよう、日々進化する情報技術に対し、情報セキュリティの確保にしっかりと取り組まれない。</p>	<p>情報セキュリティの重要性が増してきている中、新たな脅威に対応できるよう、適切な監視を実施するとともに、職員研修や標的型メール訓練等を通じた組織全体の情報セキュリティの人的対策強化に取り組んでいます。</p> <p>また、モバイルワークにおいては、多段階認証を行うほか、直接端末にデータが保存できない設定をした上で、無線通信については、限られた利用者のみが接続できるインターネットから分離されたネットワークを利用する等のセキュリティ対策を講じています。</p> <p>今後、情報技術が日々進化する中でも、安心かつ快適に情報システム等を利用できるよう、最新の技術動向を注視し、情報セキュリティの確保に努めていきます。</p>
			<p>職員間でICTに関する知識・能力の差があると思うが、AI、RPA等の新技術を多くの職員が利用し、その効果を最大限活用できるよう取り組まれない。</p>	<p>スマート自治体を推進するにあたっては、推進組織を設置するとともに、人材育成に取り組むこととしています。先進技術活用の核となる人材の育成と、RPAの導入に取り組む中で生まれる伝道師的な人材の活用の両面で進めていくことにより、多くの職員が利用でき、その資質の向上にもつながるよう取り組んでいきたいと考えています。</p>

番号	施策・行政運営名	主担当部局	委員会意見	回答
331	世界から選ばれる三重の観光	雇用経済部 観光局	当施策の取組が、一部の地域に集中することのないよう、市町等と連携・協力しながら、三重県全域に配慮した取組を進められたい。	持続的に成長・発展する三重の観光を実現するため、観光地域づくり法人（DMO）、観光事業者、市町等と連携し、オール三重で各地域の特色を生かした観光誘客の推進、観光産業の振興に取り組んでいきます。
行政運営5	広聴広報の充実	戦略企画部	副指標を「県広報プロモーションのファン数」とし、その目標値を県が情報発信しているフェイスブック及びツイッターのSNSフォロワー件数等としているが、広聴広報の充実の観点から、目標値の集計の対象としていないSNSについても、フォロワー数の増加等に努められたい。 また、目標値の対象とするSNSやそのフォロワー数等の推移を庁内で共有し、広聴広報の充実に活用されたい。	県の情報を横断的に情報発信し、定点として長期的に測定ができるSNSを対象としたフォロワー数とし、これを確実に増やしていくことを目標にしています。 定点として測定ができるファン数を基準にし、ファン数の増加を図るとともに、他のSNSでの情報発信についても、広聴広報課のSNSや県ウェブサイトを活用し、ファン数の増加を図っていきます。 また、目標値の対象とするSNSの情報発信の取組内容やそのフォロワー数等の推移を庁内で共有し、広聴広報の充実に活用していきます。

番号	施策名	主担当部局	委員会意見	回答
253	農山漁村の振興	農林水産部	<p>農山漁村の振興は、人口流出の課題に直結する施策であることから、主指標、副指標それぞれが「多くの人々が住みたい、住み続けたい、あるいは訪れたいと感じ、農山漁村の活性化が進んでいる」という施策のめざす姿にどのように資するのかという視点を重視して取組を進められたい。</p> <p>また、議会へは指標それぞれの目標達成状況だけでなく、施策のめざす姿に対してどのような効果をもたらしているかについても説明されたい。</p>	<p>地域から生み出される農林水産物の加工施設や直売所等の整備を支援するとともに、国内外からの誘客につながる自然体験活動の促進や、魅力ある地域資源を最大限に生かした農家レストランや体験民宿などのビジネスを生み出すことで、地域経済の活性化や雇用の創出につなげていきます。また、地震や豪雨などの自然災害に対する防災・減災対策を計画的に進めることで、地域の皆さんが安心して暮らせる環境を整備します。</p> <p>こうした取組を通じて、「多くの人々が住みたい、住み続けたい、あるいは訪れたいと感じ、農山漁村の活性化が進んでいる」というめざす姿の実現につなげていきます。</p> <p>また、主指標や副指標が、めざす姿にどのような効果をもたらしているかについては、数値の達成状況だけでなく、その副次的な効果も含めて毎年度の成果レポート等でお示ししたいと考えています。</p>

番号	行政運営の取組名	主担当部局	委員会意見	回答
131	地域福祉の推進	子ども・福祉部	誰一人取り残さないという重要な理念や子どもを含む視点も、施策の到達目標である「県民の皆さんとめざす姿」に盛り込まれたい。	包摂性の理念や子どもを含む視点は非常に重要であると認識しており、委員会のご意見もふまえ、誰一人取り残さないという理念や子どもを含む視点をめざす姿に盛り込むことで、より明確に表現しました。

番号	施策・行政運営名	主担当部局	委員会意見	回答
111	災害から地域を守る自助・共助の推進	防災対策部	地震発生に伴う住宅・建築物倒壊による死傷者の発生を防ぐため、住宅・建築物の耐震化の促進についてはその重要性を認識して積極的に取り組まれない。	住宅や建築物が地震で倒壊すると人命や財産が失われるだけでなく、避難路の閉塞などにより救助活動に支障をきたし、復旧復興の遅れにもつながることから、被害をできる限り軽減する対策が重要であると認識しています。そのため、市町や建築関係団体等と連携しながら、引き続き住宅・建築物の耐震化促進に取り組んでまいります。
112	防災・減災対策を進める体制づくり	防災対策部	気候変動の影響から激甚化・頻発化すると考えられる風水害等に対して適切に対応するとともに、来年度に予定している「三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）」の策定に当たっては、本行動計画との整合性を図るべく調整されたい。	気候変動を踏まえて防災・減災対策を推進していくこととし、本行動計画に追記しました。また、「三重県地球温暖化対策総合計画（仮称）」の策定作業においては、本行動計画における防災・減災対策との整合性を図るべく、関係部局と調整を行ってまいります。

番号	施策名	主担当部局	委員会意見	回答
141	犯罪に強いまちづくり	警察本部	副指標「『子ども安全・安心の店』認定事業所数」について、認定事業所数を増やすだけでなく、さらに子どもたちへの周知や認定した事業所との関りを密にするとともに、「子ども110番の家」等の他の取組を進める関係者・関係機関と連携し、地域全体で子どもたちの登下校時の安全確保に努められたい。	<p>小学校で開催する防犯教室やツイッター等を活用した情報発信などを通じて、教職員や子どもたち、保護者に対し「子ども安全・安心の店」認定事業所の概要や設置箇所を周知するとともに、犯罪発生情報等の提供や合同での見守り活動の実施などにより、認定事業所と緊密な連携を図ります。</p> <p>また、市町教育委員会が設置主体の「子ども110番の家」等とは、県教育委員会を通じて、情報交換を行うとともに、学校、市町、地域住民等と連携した見守り活動を実施し、地域社会全体で子どもたちの登下校時の安全確保に努めます。</p>